

岱明中学校 スクールプライド

- 生徒数 335人（9月1日現在）
- 学級数 13学級
- 職員数 34人
- 学校教育目標
「郷土に誇りをもち 夢に向かって挑戦
する児童生徒の育成」（岱明中学校区共通目標）
- 校訓 「理を明らかにし、身心岱に養う」



「躍動！」（平成28年度生徒会スローガン）
～勇気を持ち、行動につなげる岱明中～

※生徒会執行部の生徒総会での提案から

＜提案理由＞

躍動」と言う言葉に、岱明中生徒全員が、勢いよくいきいき活動し、今よりさらに活気があり、様々な活動に全力で取り組む岱明中にしていきたいという願いを込めました。

岱明中は、クラスマッチや行事ごとに団結し、朝練習をしたりと気迫あふれる活動ができます。そして、部活動が盛んです。これまでの伝統を引き継ぎ、学校行事や大会、コンクールなど様々な場面で活躍し、さらに躍動したいという思いがあります。

また、岱明中では「あそふじ」を合い言葉に学校生活を過ごしてきました。スポーツや行事だけでなく、学校生活の中でも、自らが先頭に立ち、より高い「あそふじ」を目指す学校にしたいと考えています。

生徒全体が、何事にも積極的に取り組むことで、岱明中が大きく躍動するはずです。

サブテーマには、これまでを超える躍動する岱明中を創り上げていく為に、勇気を出して行動にうつすことが大切だという思いを込めました。一人一人が岱明中生でよかったと思い、周囲から岱明中生は素晴らしいと言われる学校にしていきたいという願いを込めてこのスローガンを考えました。



平成28年度生徒会活動方針

＜方針1＞「行事に燃える岱明中」

・生徒全員が団結し、お互いに励まし合いながら各種行事に臨む。

＜方針2＞「より高いあそふじへ」

あ→あいさつ そ→そうじ

ふ→ふくそう じ→じかん

・身の回りのことに気づき、みんなが気持ちよく過ごすことができることを目指す。

躍動

～一人一人が最高に輝く瞬間～

上記のスローガンのもと、9月11日（日）晴天に恵まれ、猛暑が残る中、岱明中学校体育大会を実施しました。入場行進からはじまり、開会式、競技、閉会式と行いましたが、3年生を中心に「躍動」する生徒の姿は、ご来賓をはじめ、保護者や地域の方々、そして我々教師に大きな感動を与えてくれました。特に、3年生の生徒会執行部、体育委員会、各団の応援リーダー、そして全生徒が最高に輝く汗を流せた一日でした。

【岱明中伝統の女子ダンス・男子マスゲーム・エッサッサ】



「大躍進！総合10位から総合4位へ」 ～荒尾玉名中体連陸上競技大会～

（昨年度）男子13位、女子8位 総合10位

（本年度）男子5位 女子4位 総合4位

9月16日（金）に開催された、荒尾玉名中体連陸上競技大会において、我が「チーム岱明」は、総合3位に2.5点差に迫る、総合4位という見事な成績を収めました。競技者・応援者・指導された職員が一体となったチームワークの躍進でした。



小中一貫教育の取組が始まりました

共通教育目標

郷土に誇りをもち

夢に向かって挑戦する児童生徒の育成

研究テーマ

「輝く十五の春を目指す岱明版スタンダードの実践」

目指す生徒像(十五の春の姿として)

- 夢を持ち、主体的な学びを身に付けた生徒
- 郷土に誇りをもち、素直で思いやりのある生徒
- 身心ともに健康で、根気強くやりぬく生徒

基本方針

- 1 各学校の特色を生かしながら、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進する。
- 2 中1ギャップの解消のため、小学校から中学校への円滑な接続を図る。
- 3 岱明中学校校区幼・保等、小、中連携推進協議会の活動とリンクしながら推進する。

十五の春通信

本年度も小中連携の取組みが始まりました。前年度もたくさんの成果を挙げた取組みですので、今年も子ども達がこの1年間どのように成長するのかわかる通信では、5月2日に大野小、陸小、高小に分かれて行われました。報告をします。来週の5月16日に岱明中で行われる部会総会にお持ち下さい。

岱明中学校区小中一貫教育「学びづくり」部会推進委員会

協議内容 目指す児童生徒像の決定

平成27年度の児童生徒像「人の話を聞き、自分の思いや考えをしっかりと伝える。主体的な学びを身に付け、夢を叶える生徒」

平成28年度の児童生徒像「夢を持ち、主体的な学びを身に付けた生徒」

授業像、研究の柱、共通実践事項の検討

【共通実践事項】

①各中学校の授業スタンダードの実践に取り組む。

特に、学び合いや課題設定の工夫、

評価との一体化を中心とした視点にて取り組む。

②かがやきの5の徹底に取り組む。

③特別支援教育(授業のユニバーサルデザイン)の

推進(指導)や給食指導に取り組む。

かがやき5

1. チャイム前準備

2. 目と鼻と心で読む

3. 言葉の力を使いこなす

4. 授業のあふり活用

【定期的に出される15の春通信】